

交母だより

三豊市交通安全母の会
2020年2月発行



香川県交通安全母の会連合会から『団体表彰』を受賞いたしました。

三世代ふれ愛交通安全教室

上高瀬小学校

交通安全母の会と三豊市PTA連絡協議会母親委員会の共催で、交通安全のマスコット作りを行っています。幼稚園児から中学生までの子どもたちとその保護者、そして交母会員とで、100名余の参加者でした。チャイルドシートやシートベルト着用の大切さなど交通安全についての講話、その後、マスコット作りです。高学年以上の子どもたちは、縫う作業に挑戦したり、小さな子どもたちもボンドでの作業を楽しんだり、それぞれ、できることに取り組みながら、交母会員と親子でのふれあいの一時となりました。

出来上がった亀マスコットは、顔や目の位置でそれぞれ違うかわいい表情で、作り手一人ひとりの願いがこもっているようでした。この交通安全の願いが多くの方々に届くことを願って交流事業を終えました。

高齢者世帯訪問事業

高齢者の交通事故防止対策として、高齢者が集うサロンや教室の場に出向き、チラシ・トイレットロールを使い、交通安全啓発を行っています。その他にも交通安全の学習、啓発について、ご要望・お問い合わせは、総務課交通担当までお願いします。 総務課 (Tel73-3000)



シートベルトを着用しましょう チャイルドシートを利用しましょう

交通安全母の会 こじかクラブでは、交通安全意識の高揚を図り、交通安全母親活動をより充実させるため、春と秋の「交通安全運動」にあわせ、チャイルドシート着用率調査を実施しています。令和元年度の結果は、春と秋の平均が74.3%でした。昨年より良くなっているものの、まだまだ低い結果です。

運転者のシートベルト着用はもちろんですが、大切な子どもを守るチャイルドシートを必ず利用してください。



三豊警察署



平成31年3月25日から、現在の場所(高瀬町下勝間2335番地1)に移転されました。新庁舎には、災害対策室や被害者相談室が新しく設けられ、施設の機能充実が図られています。

「交通事故抑止のために」

三豊警察署 交通課長 山本 健一

三豊市交通安全母の会の皆様方におかれましては、「交通安全は家庭から」をスローガンのもと、地域や家庭における交通安全の意識向上や交通事故防止のため、さまざまな取り組みを積極的に展開され、そのご苦勞に対しまして心より御礼申し上げます。

2019年は年初から交通死亡事故が多発し、1月と9月に交通死亡事故多発警報が発令されるなど厳しい状況が続き、交通死亡事故死者数は47人と昨年を3人上回ってしまいました。こうした中、三豊市内では今年も車両の自損事故で3人(前年比△1)の方が犠牲になりました。

三豊警察署ではこうした事態を踏まえ、ドライバーの方に緊張感を持って運転していただくため、信号無視や一時不停止等の交差点違反、わき見運転の原因となる携帯電話違反、ドライバーの命を守るシートベルトの着用義務違反等の取締りを強化するとともに、総合的な安全対策を行い交通事故の抑止に努めていますが、交通安全教育の場として一番身近な場所は家庭であります。家庭における安全教育はまさに皆様方の活動指針そのものであり、そこに寄せる期待は非常に大きいものがあります。今後とも家庭や地域から交通安全意識を高めていただき、悲惨な交通事故を1件でも減らせるように、引き続きお力添えをお願いします。結びに三豊市交通安全母の会の皆様方の益々のご発展とご健勝、ご活躍を祈念申し上げます。

■編■集■後■記■

令和、第一号の「交母だより」になります。5月の滋賀県での交通事故。台風・豪雨など、被害は、あまりにも酷く多くの爪痕と甚大な被害を残した。温暖化・海水温上昇のせい、数年来より、雨は集中的に降り豪雨となっている。また、首里城が全焼と…… 人生には喜びや悲しみがあるのが常だが、「一番大切なもの」を守るにはどうするか、一地球人として「温暖化・安全・安心」など……

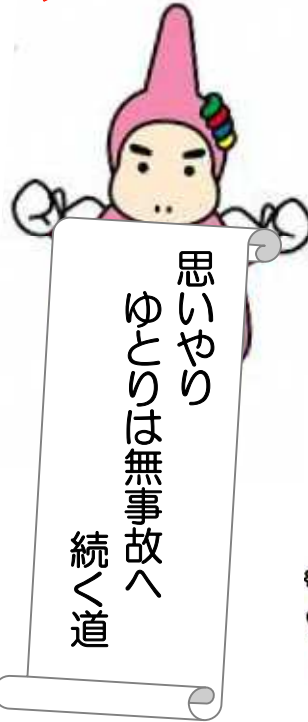
今、一人ひとりが考え行動しなければいけない。

改元の年と共に明るい未来を願う！

三豊市交通安全母の会 会長 三木 壽々子



交通安全の願い



「こうつうあんぜんの3つのやくそく」が書かれた大きな看板があります。数年前にPTAの交通部の方が、作ってくださったもので、子どもたちの安全への願いが込められています。園外に出かけるときには、みんなで声に出し、安全の約束をしてから、道路を渡ったり右側を歩いたりしています。

また、幼児期からの安全意識を高めるために、毎年、市交母の会やPTAの交通部の方が劇や読み聞かせなどの「交通安全指導」をしてくださっています。命を守る「マモロンジャー」の登場やお話、絵本の中の飛び出しの場面に、子どもたちの表情は真剣そのもの。「自分の身は自分で守る」「飛び出しはしない」などを約束し、交通安全について楽しく学ぶことができました。

今後も、地域や家庭と連携し、幼児期から安全に対する習慣が身につくよう取り組んでいきます。

下高瀬幼稚園には、園庭からよく見えるところに、「こうつうあんぜんの3つのやくそく」が書かれた大きな看板があります。数年前にPTAの交通部の方が、作ってくださったもので、子どもたちの安全への願いが込められています。園外に出かけるときには、みんなで声に出し、安全の約束をしてから、道路を渡ったり右側を歩いたりしています。

下高瀬幼稚園の取り組み

歩行者が絶対優先!



松崎小学校では『一番大切なものは命、自分の命は自分で守る』を合言葉に、安全教育に取り組んでいます。登下校時では、車や自転車との事故を防ぐために、自分でできることは何かを考えさせたり、地震が起これば、自分の居場所によって、どのように行動するかを考えさせたりしています。

そんな中、五月二十七日には、交通安全母の会の三木さんが来てくださり、今年も一年生に交通安全の紙芝居をしてくださいました。今年のテーマは自転車及び一旦停止でした。道路交通法の改正後罰則が厳しくなっています。そんなことより、自分、そして周りの人の命を守るため、交通ルールを守り、整備した自転車で安全に通行できるようにするにはいけません。交通安全母の会の三木さんのような人が、地域でたくさん見守ってください。これからの子どもたちに伝え、考えた行動ができるようこれからも指導していきます。

一番大切なもの

松崎小学校

交通安全母の会研修会に参加して

三野 相野 紀美子

去る十月十七日(木)、市交母の会の有志二十名余が、香川県警察本部で研修。警察官の持ち物等を見たり触ったりと、普段できない体験。まるで子どものように感動。各部署の説明も熱心に聴講。

事故を起こさないよう、遭わないよう、気を付けなければと決意も新たにしました。昼食バイキングで、楽しく交流も深まりました。新三豊警察署では、山本交通課長から危険箇所や交通情報、多田警務課長からは普段なかなか入れない所を含め、各部署の説明等を聞きながら、新庁舎を見学。大変有意義な研修となりました。

香川県交通安全母親活動推進大会

豊中 合田 恵美子

去る十一月十一日、四十周年記念・香川県交通安全母親活動推進大会が県社会福祉総合センターで盛大に開催されました。「交通安全母の会の歌」を皆で合唱し、開会の辞、事故犠牲者に対する黙祷を捧げ、会長の挨拶、ご来賓祝辞と続き、多年にわたり母親活動に尽力された団体や個人表彰に移りました。三豊市交通安全母の会連合会も団体表彰を受賞いたしました。

その後、JAF香川支部の岩木氏から、「交通安全における危険予知」について研修。信号機のない横断歩道での一旦停止率が、香川県は9.4%。停止率の高い長野県では、68.6%です。幼児期に横断歩道で停止する等、経験の有無や取組み方が大切で、これは今後の課題です。県警音楽隊によるミニコンサートが大会に花を添えました。大会宣言案が満場一致で採決され閉会。実り多い大会でした。

「交通事故を起こさないために」



団体表彰を受賞



歩行者は反射材を着用しましょう!

夕暮れどき、夜間は反射材を着用しましょう。

明るい色の服を着ていても、自動車からはよく見えません。夕暮れどきや夜間の外出には必ず反射材を着用しましょう。反射材を着用すると120m以上離れた自動車から発見することが出来ますので、交通事故に遭う危険性がとても低くなります。

反射材は遠くからでもよく見えます。

黒っぽい服装では見えづらい。

明るい色の服でもよく見えない。

反射材を付けるのが一番。



交通安全キャンペーン



事故のない社会を

あなたのマナー、大丈夫?

1. 安全速度を必ず守ります。
2. カーブの手前でスピードを落とします。
3. 交差点では必ず安全を確認めます。
4. 一時停止で横断歩行者の安全を守ります。
5. 飲酒運転は絶対にしません。

《安全運転五則》